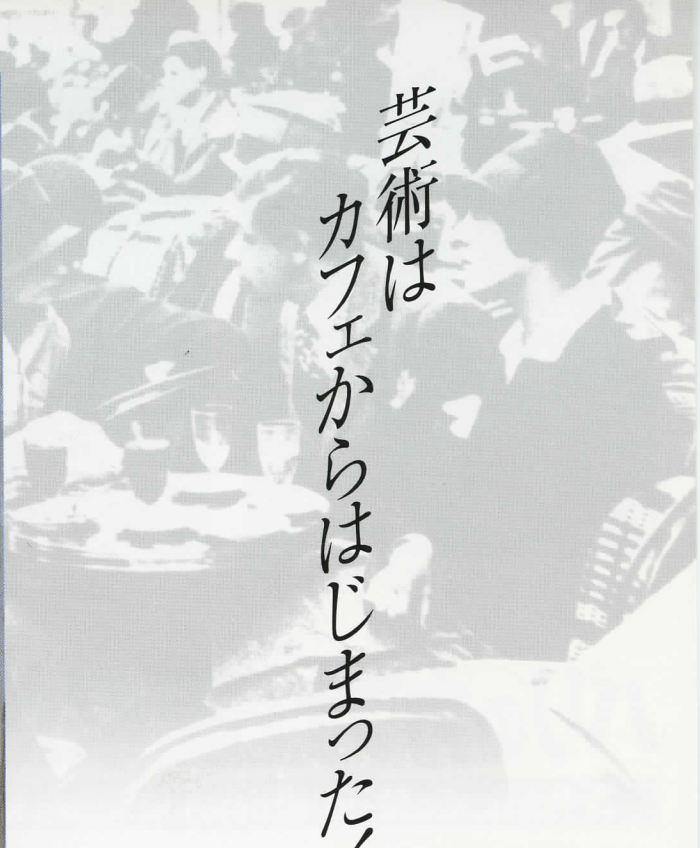




アメデオ・モディリアーニ 《若き日のロレット》1918年



芸術は
カフェからはじまった!

Maurice Utrillo
ユトリロ
Amedeo Modigliani
モディリアーニ
Fujita Tuguharu
フジタ
Pablo Ruiz Picasso
ピカソ

パリのカフェと 画家たち展

A Paris, Cafés d'artistes et leurs légendes

2000年2月25日^金 ▶ 3月26日^日

入場料 ■ 一般1,000円(800円) / 高大生600円(480円) / 小中生300円(240円)

- ()内は前売りおよび団体20名様以上の料金
- 65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
- 第2・第4土曜日は小・中・高生入場無料

高松市美術館

〒760-0027
香川県高松市紺屋町10-4
Tel.087-823-1711

休館日 ■ 月曜日(但し、3月20日(月)は開館し、翌日3月21日(火)は休館)

開館時間 ■ 午前9時~午後5時(入室は午後4時30分まで) / 初日は午前10時開展式毎週金曜日は午後7時まで開館(入室は午後6時30分まで)

主催 ■ 高松市美術館 / 読売新聞大阪本社 / 西日本放送 後援 ■ 外務省 / フランス大使館 / パリ市 協力 ■ 全日空



ル・ドームのテラス
© André Kertész/Ministère de la Culture

Marc Chagall
シャガール
Salvador Dali
ダリ



マン・レイ《キキと仮面》1924年



マルク・シャガール《バレットを持った自画像》1917年
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 1999



ジュール・バスキン《赤いリボンの少女》1928年



アルベルト・ジャコメッティ《歩く女》
1932~36年(1969年再制作)
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 1999

パリのカフェと画家たち展

A Paris, Cafés d'artistes et leurs légendes

芸術はカフェからはじまった!

20世紀初頭、パリが世界中の画家たちを魅了する美の都として栄光に輝いた時代、若き異邦人たちは、芸術活動の場を求めてモンマルトル、モンパルナスそしてサン＝ジェルマン＝デ＝プレへと集まってきました。そしてこの3つの地区の芸術家にとって重要な役割を果たしたのがカフェの存在でした。「ラバン・アジル」「ルドーム」「レ・ドゥ・マゴ」などの文芸カフェは、芸術家の憩いの場所であると同時に、お互いの芸術論を交換し、切磋琢磨する重要な場所でした。芸術・文化の発信地であったカフェの賑わいを背景としてフォーヴィスム、キュビズム、シュルレアリスム、エコール・ド・パリなど、今世紀を代表する様々な美術運動が展開されたのです。

本展では、目まぐるしく変転した美術運動の拠点となったカフェの紹介とあわせて、今世紀初頭から戦後にかけて活躍したモディリアーニ、ローランサン、ピカソ、藤田嗣治、ダリなどの作品約120点を展示します。



パブロ・ピカソ《花嫁》1969年
© SUCCESSION P. PICASSO, Paris & BCF, Tokyo, 1999



ギャラリートーク

当館学芸員が
展示作品を解説

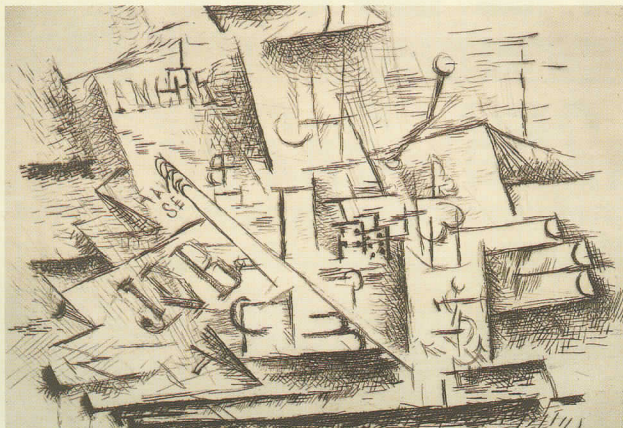
2月26日[土]、3月11日[土]
午後2時より2階展示室にて

美術館ボランティアと
展示作品の鑑賞

毎日曜日および祝日
午前11時より、午後2時より
(1日2回)
2階展示室にて



マリー・ローランサン《ふたりの少女と犬》1945年
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 1999



ジョルジュ・ブラック《キュビズムの静物:JOB》1911年
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 1999



高松市美術館
Takamatsu City Museum of Art
〒760-0027香川県高松市紺屋町10-4 Tel. 087-823-1711

交通案内

JR四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分
琴平電鉄-瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分
バス路線-紺屋町バス停下車、徒歩3分
駐車場-美術館地下に公営駐車場
(有料,乗用車144台収容)